

令和7年度第1回山元委託販売打合せ会議に出席しました

令和7年6月17日～18日、青森県森林組合連合会主催で開催された「令和7年度第1回国有林野産物の山元委託販売打合せ会議」に出席しました。

初日は黒石市にある津軽木材流通センターに集合し、青森県森林組合連合会の黒滝常務より挨拶をいただいたあと、担当者から本日視察する民有林伐採箇所の概要等について説明していただきました。説明終了後、視察箇所である平川市小国深沢地内に移動し、現地の搬出状況等を視察しました。

現地の山林所有者は（株）津軽バイオマスエナジーで、弘前地方森林組合が管理委託者となり、有限会社下山林業が作業を行っています。

現地を精査し検討した結果、間伐（定性）施業を実施することし、現在のところ5割程度の間伐木を自社の発電用として利用しているとのことでした。

2日目は青森市森林博物館において、打合せ会議を実施しました。

冒頭、青森県森林組合連合会の秋田参事から挨拶があり、続いて青森県森林組合連合会の各担当者から県内外の大型木材加工工場の現況、令和7年5月までの木材市況と今後の見通し、広葉樹の入札結果及び今後の状況、令和7年度国有林山元委託販売落札結果について説明していただきました。

また、各森林管理署等の担当者からは、委託販売の進捗状況や今後の販売見通しについて情報提供があり、青森事務所からは青森県内各署の委託販売計画量、第1次システム販売協定量、東北森林管理局管内の県別平均単価について情報提供し、その後意見交換を行いました。

今回の会議では、最新の情勢を踏まえた販売状況等について情報共有を図ることができ、有意義な2日間となりました。

青森事務所では、今後も各種会議等への参画を通じて最新の情報を収集し、国有林材の安定供給や資源の有効活用に貢献していきたいと考えています。



民有林間伐箇所の視察



打合せ会議の様子